



# せいしょうねん

No.83

編集・発行：堺市青少年指導員連絡協議会

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号  
(堺市子ども青少年局子ども青少年育成部子ども育成課内)  
TEL 072-228-7457 FAX 072-228-8341  
Eメール : koikusei@city.sakai.lg.jp  
[https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/hughug/wakamono\\_shien/shidoin/katsudo.html](https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/hughug/wakamono_shien/shidoin/katsudo.html)

2025. 10



## せいしょうねん83号 ご挨拶



堺市青少年指導員連絡協議会  
会長 西村 保廣

このたび、堺市青少年指導員連絡協議会の会長に就任しました西村保廣でございます。

微力ではございますが、今回選出されました役員の方々とともに、青少年指導員の皆様方のお力とご意見を頂戴しながら尽力する所存です。

さて、青少年を取り巻く環境は日々変化し、闇バイトやオーバードーズ、ヤングケアーなど、さまざまな問題が起きています。「青少年を取り巻く現状～地域の大人たちに求められているもの～」をテーマに行った研修では、改めて地域の大人としての役割について考えさせられました。

私たちが青少年指導員として活動する時間は、ほんの限られたわずかな時間かもしれません、こどもたちが安心して過ごせる場所、信頼できる大人と出会える場所を、地域の力で守り育てていくために、私たち青少年指導員自身がその活動の在り方を前向きに考え、日々の活動を続けていくことが最も重要なことだと思います。

新役員一同、青少年が夢と希望をもって健やかに成長できるよう、そして私たち青少年指導員が互いに繋がりあえる協議会として発展できますようがんばってまいります。引き続き、青少年指導員の皆様方のお力を借りできれば幸いです。

結びに、青少年指導員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。  
よろしくお願ひいたします。



堺市長  
永藤 英機

青少年指導員の皆様には、平素より地域での巡回や啓発活動や各区の「二十歳の集い」の運営をはじめ様々な事業を通じて青少年の健全育成にご尽力いただいていることに敬意を表し、感謝申し上げます。

堺市では、市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」において重点戦略に「将来に希望が持てる子育て・教育」を掲げ、「妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実」や「安心して学べる教育環境の充実」など積極的に取り組んでいます。令和7年度は、全員喫食制の中学校給食の開始や小学校では給食費無償化の段階的実施など、こどもの育ちを応援する取組に力を注いでいます。

学校や自治会等と連携しながらこどもたちを温かく見守っていただいている皆様の活動は、地域社会全体で支え合う子育て環境の整備を推進する本市にとって意義深く、こどもたちの未来を切り拓く力を育むことにもつながると考えています。

堺市は、全てのこどもが将来に希望を持ち、安心して自分らしく成長できる堺であるように力を尽くしますので、皆様には引き続きお力添えをいただけますと幸いです。

結びにあたり、青少年指導員の皆様のご健勝とご活躍並びに堺市青少年指導員連絡協議会の益々のご発展を祈念しまして、ご挨拶といたします。

# 堺市青少年指導員証交付式・感謝状贈呈式及び総会



令和7年6月24日(火曜日)19時よりフェニーチェ堺小ホールで堺市青少年指導員証交付式・感謝状贈呈式及び総会を開催いたしました。

指導員証交付式・感謝状贈呈式では永藤市長が登壇され、指導員証の交付に続き退任された方への感謝状の贈呈がありました。

引き続き行われた総会では、次の活動方針が承認されました。

ご出席いただきました皆様方、誠にありがとうございました。(参加者134名)

## 〈令和7年度 堺市青少年指導員連絡協議会 活動方針〉

### 1. 大人が積極的に青少年と関わる地域社会の推進

大人が青少年の気持ちに寄り添い、積極的に関わることにより、青少年が常に大人に見守られていることが実感でき、大人と子どもが信頼しあえる地域社会づくりを推進します。



### 2. 青少年が健やかに育つ地域環境づくり

地域の関係機関・家庭・学校・行政などとの緊密な連携や、校区間の活動の情報共有を行うとともに、地域ごとの課題に的確に対応して、校区における各種活動の充実を図り、青少年が健やかに育つ地域環境づくりを進めます。

### 3. 青少年指導員活動のPR強化

青少年指導員活動の広報・PR活動を強化し、青少年指導員活動への理解と協力を促します。



## 堺市青少年指導員新人セミナーに参加して

金岡校区 大塚 晃一

令和7年8月25日(月曜日)に堺市役所本館3階大会議室にて堺市青少年指導員新人セミナーが開催されました。

まず、堺市青少年指導員連絡協議会の西村会長より「青少年指導員の役割について」と題して、青少年指導員制度の歴史・堺市青少年指導員連絡協議会の概要及びその活動について説明がありました。研修・対策育成部による中央研修会・施設研修会、広報部による機関紙「せいしようねん」の発行が紹介されました。また「二十歳の集い」や各小学校区の青少年指導員の活動も報告されました。さらに大阪府青少年健全育成条例の第24条「夜間営業を行う施設への立入制限等」、第25条「夜間に外出させない保護者の努力義務」について説明されました。私たち堺市青少年指導員は「地域の子どもは地域で育てよう・大人が変われば子どもも変わる」をモットーに知恵と行動力を結集し、未来を担うこどもたちのために地道に活動していく、とアピールされました。

次に、元少年サポートセンター長で現在は黒山警察署で警察官として勤務されている橋川清太氏による「青少年を取り巻く現状～地域の大人たちにもとめられているもの～」と題しての講演がありました。大阪の刑法犯少年の検挙・補導人数はしばらくの間は年々減少していたのに、コロナ禍の制限がなくなった令和4年から再び増加に転じたそうです。

橋川氏が実際に出会った「問題行動」を繰り返すこどもたちの話がとても興味深いものでした。非行など、問題行動には必ず原因があり、「困った子」たちは、「困っている子」たって、「問題行動」は「SOS」のサインである。橋川氏が実際にかかわったこどもたちへの深い愛情を伴った接し方が大変すばらしいと感じました。こどもたちの「感情」を大切にして寄り添い、こどもたちの「感情」を認めて共感し、優しく包み込んであげてほしいとのことでした。「当たり前の感情を当たり前に表現できて、それをしっかりと受け止めてくれる誰かがいる」ことこそが、「立ち直り」の第一歩である。地域で巡回活動をしながらこどもたちへの声掛けをする青少年指導員に求められているのは、SOSを出せる場所で、なんでも話せる大人・信頼できる大人に出会うチャンスを作つてあげることであると力説されました。実際にどのように声掛けをすればいいのかも具体例をあげて大変わかりやすく説明されました。

青少年指導員としてどう行動すればいいのかいろいろと考えさせられる素晴らしい講演でした。ありがとうございました。





## 西区・福泉校区の活動 一市内一斉巡回一

福泉校区 池側 昌男



本来、8月2日(土曜日)が市内一斉巡回の開催日ですが、当校区では夏休み期間中に13自治会の内、9カ所での盆踊りが開催されることに合わせて校区内での一斉巡回を行いました。

青少年指導員会としては、午後8時から開催地周辺を班編成でパトロールを行い、「福泉校区青少年指導委員会」の旗を掲げながら、反射板のベストを着用しての巡回を行いました。

最終開催地においては、青少年指導員16名で2コースに分かれてのパトロールを行い、パトロール後は地域の方々との情報交流も含めた親睦を図っています。

当校区においては、毎月第3土曜日の午後7時20分より定例会を行っていますが、会議終了後には校区内の5コースに分かれて、それぞれの青少年指導員が帰宅までの道のりを巡回しながらパトロールを行っています。

また、校区での連合体育大会や防災訓練などの行事においては、校区内の住民に対して参加協力を呼びかけたりしています。

今後の青少年指導員会活動については、校区青少年指導員会として青少年の健全育成を主な目的としながら、日々の安心・安全が保てるよう校区の各種団体と共に連携して、校区の活性化を図っていけるように、今後も青少年指導員会活動を進めていきたいと思います。



## 中区・八田荘西校区の活動 ~中区合同巡回~

八田荘西校区 浦芝 義一

8月2日(土曜日)午後8時30分～午後9時30分、青少年非行防止を目的に中区合同巡回を行いました。

午後8時30分に原池公園に集合し、八田荘、八田荘西、福田、久世、深阪、東百舌鳥、堺市職員が4組のコースに分かれて巡回活動を実施しました。巡回場所は、体育館、第1・第2スケートボードパーク、健康遊具広場、冒険広場、駐車場、駐輪場、バーベキュー場、くらスタジアム堺野球場、防災トイレ、親子広場です。

巡回後、各校区から報告を受けました。

- ・くらスタジアム堺野球場横にちょうどいい長い坂道があり、中学生がスケートボードをしており注意した（スケートボード禁止の看板有り）
- ・国道側のスケートボードの場所周辺にタバコの吸いがらが落ちていた。
- ・遊具広場、冒険広場は不審な人物、危険物はなかった。
- ・この夏、暑いせいか公園で子どもの姿は見ず、親子連れは2組見た。
- ・公園が広いため、街灯が少ない



各校区青少年指導員会の皆様、御協力ありがとうございました。堺市職員の方お忙しい中ありがとうございました。



## 日置莊西校区の活動

日置莊西校区 山本 正博



日置莊西校区の活動のメインとしては、毎月1回行う校区内の巡回活動が一番と考えています。校区内の公園やマンションの駐車場を巡回ルートに入れ、3班に分かれて自転車により行っています。もちろんヘルメットを着用するとともに、夜間のことですから安全性に留意し、LEDランプ付きベストを着用して実施しています。

本年4月には、萩原天神の南側に広域避難地としての機能を有する天神公園がオープンしましたが、夜間でも明るく施設も綺麗なことから、若者のたまり場になる可能性もあり、特に念入りに巡回を行っています。

また、年3回中学校と小学校のPTA役員さん、生徒指導の先生とも合同で町会主催の夜店が出店されるときや年末に巡回を行っています。

萩原天神の秋祭りにおいては、青少年指導員が所属する各町会のだんじり運行に帯同しつつ、子どもたちに声掛けをしながら、安全確保にも努めています。

巡回に際しては、特に問題となるような大きな事案はこれまでありませんでしたが、引き続き「青少年を見守ること」を念頭におきながら実施していきたいと思います。

東区全体の取り組みとしては、東区民まつりにおいて、8校区合同での青少年指導員会ブースを設置し、オリジナル缶バッジづくり及びSNSフィルタリングや薬物乱用防止などの啓発活動を行いましたが、ブースは行列ができるほどの大盛況となりました。

また、「二十歳の集い」においても、会場内外における案内や警備補助など、その運営に協力しています。



## 青指活動の変遷と新たな役割

原山台校区 向井 芙美夫

原山台の青少年指導員（青指）の活動は、主に小学校の登下校時の指導や校区美化活動、地元での「二十歳のつどい」への協力などです。こうした活動は、ほとんどが連合自治会と共同で行われており、これはマンパワー不足と時代背景を反映しているのかも知れません。

20年ほど前、青指の活動といえば、有害図書の調査や非行防止のための巡回活動が中心でした。しかし、今は子どもたちの居場所が大きく変わっています。

わざわざ集まらなくてもSNSのグループチャットでつながり、ゲームセンターがなくなってからは自宅の画面でオンラインゲームを楽しむ時代になりました。以前は夜のコンビニ前が居場所になることも多かったのですが、最近はめっきり少なくなりました。

このような状況で、問題がないのでしょうか。小学校では不登校の子どもが増え、ひきこもりの若者も少なくありません。授業についていけないことが不登校のきっかけとなるケースは教育上の課題ですが、不登校の子どもたちや二十歳を過ぎたひきこもりの若者たちに対し、青指の皆さんのが長年培ってきた経験を活かせないでしょうか。

昔、タバコや飲酒で補導される前に、彼らを助けたいと思った経験はありませんか。こうした活動は、青指を経験しなければ得られなかった貴重なものです。

たむろしている子どもたちを見て「居場所づくり」を考えたり、自分で目標を持っている子どもは自力で居場所をつくれることも知っています。

時代が変わっても青少年の健全な成長のために。



## 堺大魚夜市に参加して

美原西校区 智葉 真理

7月26日（土曜日）に大浜公園で開催されました「堺大魚夜市」に参加しました。青少年指導員連絡協議会ではブースを出店し、啓発活動、場内の巡回を行いました。私は堺市出身ではなく、今回が初めての大魚夜市でしたが、その賑わいと熱気に圧倒されました。歴史ある魚の競りは迫力があり、地域のエネルギーを感じる光景で、強く心に残っています。

祭り当日は、多くの屋台が立ち並び、家族連れや若者たちで溢れかえっており、まさに夏の風物詩といえる活気に包まれていました。その一方で、夜の人混みの中では、ちょっとした油断がトラブルにつながる可能性があります。巡回をしながら、「気をつけて楽しんでね」と声かけを行い、安心して祭りを楽しんでもらえるよう努めました。

地域の大切な文化に触れると同時に、こどもたちの安全を守るという役割を改めて実感した一日でした。最後には「みんな無事に帰れますように」と願いを込めて、祭りの会場を後にしました。

「地域の子どもは地域で育てよう

・大人が変われば子どもも変わる」

を合言葉に地道に活動を続けていきたいと思います。

大変暑い中での活動でした。指導員・役員・職員の皆様、お疲れ様でした。



### 【情報コーナー】

## 道路交通法改正

### — 自転車の違反に青切符が導入されます —

令和8年4月から、信号無視や、一時不停止、ながらスマホ、右側通行等の自転車の違反100種類以上に対して、**交通反則通告制度（青切符）**が適用されます。（※交通反則通告制度とは、違反者が反則金を納めれば刑事罰が科されない制度）

対象となる年齢は16歳以上で反則金額は原付バイクの違反と同等となります。

主な自転車の交通違反と罰則金の額	
自転車乗車中にスマートフォン等を使用する、いわゆる「ながら運転」	12,000円
一時不停止	5,000円
車道の右側通行	6,000円
信号無視	6,000円

青少年指導員の重要な活動の1つである巡回時に自転車を使用する際には、次の「自転車安全利用五則」を守って運転するようにしましょう。

#### 自転車安全利用五則

- (1)車道が原則、左側を通行／歩道は例外、歩行者を優先
- (2)交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- (3)夜間はライトを点灯
- (4)飲酒運転は禁止
- (5)ヘルメットを着用



堺市HP

## 令和7・8年度役員・事業部員紹介

### 役 員

役職名	氏名	校区
会長	西村 保廣	御池台
副会長	薮内 寛之	浅香山
副会長	澤本 美奈子	深井西
副会長	下井 治	浜寺昭和
副会長	北嶋 幸一郎	金岡南
副会長	小村 悅子	さつき野
副会長兼会計	橋本 昌和	日置荘
理事	松野 順一	安井
理事	八木 康行	登美丘東
理事	片山 昌一	新檜尾台
理事	木村 拓	新浅香山
理事	川崎 真由美	美原北
監事	今村 憲一	東百舌鳥
監事	西 哲史	平岡

### 研修・対策育成部

### 広報部

氏名	校区		氏名	校区
下井 治	浜寺昭和	部長	薮内 寛之	浅香山
崎 信仁	錦西	堺区	大畠 靖徳	錦綾
新谷 繁己	市		高田 一夫	錦
橋 健一郎	東陶器	中区	浦芝 義一	八田荘西
酒井 正博	深阪		松本 浩明	西陶器
満塙 真司	南八下	東区	山本 正博	日置荘西
井原 隆夫	登美丘南		上田 吉宏	登美丘西
諏訪 正	浜寺	西区	中野 健治	鳳南
廣田 誠二	鳳		池側 昌男	福泉
上坂 直之	福泉中央	南区	和田 桂子	城山台
泊 晋吾	赤坂台		幸田 秀雄	原山台
鳥越 正太郎	光竜寺	北区	中野 雅仁	五箇荘東
高橋 政明	新金岡東		大塚 晃一	金岡
氏林 勉	黒山	美原区	西野 正	平尾
白永 克己	八上		阪口 純一	美原西

### 編★集★後★記

令和6年度のこども家庭庁による実態調査では、青少年の98.2%がインターネットを利用しており、利用する機器はスマホが75.4%、学校配布のタブレット等が72.6%となっています。インターネットの世界では、こども達にとって役立つ情報がたくさんある一方、暴力的な表現やアダルト画像といった不適切な情報も数多くあります。ネット利用によって、書き込みでの誹謗中傷やいじめ、個人情報の流出、SNSに起因する犯罪被害、闇バイト情報による犯罪に加担など、様々なトラブルが生じており、社会問題となっています。

ネットの危険からこども達を守るために保護者ができることとしては、ペアレンタルコントロールを活用したり、フィルタリングを利用したりする方法がありますが、家庭での「ルール作り」が最も重要ではないでしょうか。親子が自分の意見を出し合って、双方が尊重できるルール作りをすることが大事です。幼児のネットルールは保護者が決める「他律」ですが、小学生、中学生、高校生と年齢が上がるにつれて少しずつルールを考えることができるようになり、大学生、社会人になると「自律」し、自分で管理できるようになります。そうなるために、私たち大人が、こども達が少しずつ自律していくように手を貸してあげたいものです。

広報部会では、機関紙として見やすい、わかりやすい紙面づくりを心がけ、議論を展開しています。今後とも皆様方からのご意見、ご感想をお待ちしております。

錦校区 高田 一夫